

JGN II イベント利用報告書

イベント番号(086)

提出日 2005年10月12日

(1) イベント名

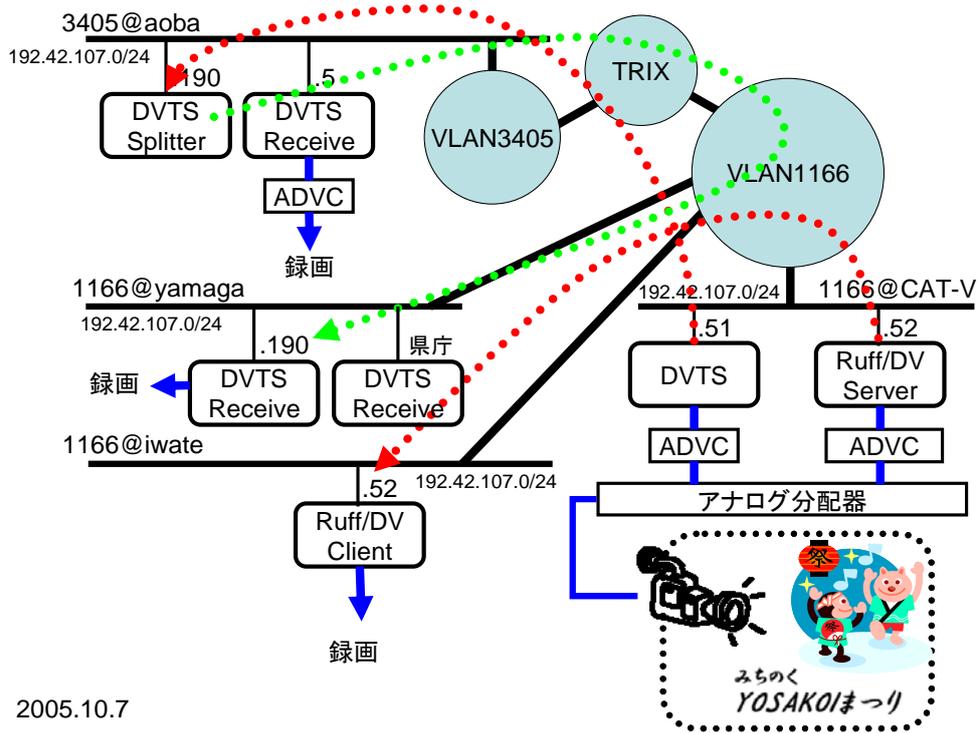
みちのく YOSAKOI 中継
(東北 JGN2 リサーチセンター)

(2) イベント概要

10月8日に仙台にて催されるみちのく YOSAKOI まつりの模様を、地元の CATV 局である仙台 CAT-V から JGN2 により各地に配送する。これは東北 JGN2RC の研究テーマの一つである CATV 局同士での映像素材流通の促進のための実証実験の一環としても位置づけている。

(3) JGN II 利用の概要

みちのく YOSAKOI まつりの模様をケーブルテレビ局 (CAT-V) から JGN2 を使って、岩手ケーブルテレビ (盛岡)、ニューメディア (米沢) へ、それぞれ Ruff システム、DVTS で送信した。(各受信局では、生放送は番組編成の都合上できなかつたが、関係者による視聴と録画を行った。)



(4) イベント参加人数

- ・東北1 仙台 CAT-V 映像提供：2名
- ・東北4 岩手ケーブルテレビ 視聴者：2名程度
- ・東北6 ニューメディア 視聴者：3名ほど

「実施協力：仙台電波高専」

(5)実施の評価等

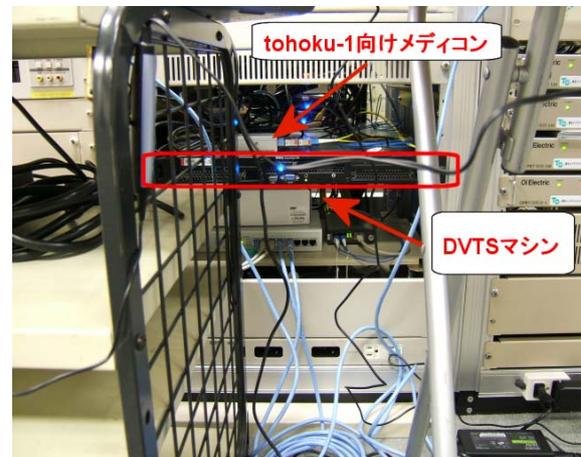
今回の映像配信は、みちのく YOSAKOI まつりの模様を各地へ映像配信することを主目的とし、東北 JGN2RC の研究プロジェクトである地域間広帯域コンテンツ流通基盤実験 (JGN2-A16028) と CATV コンテンツ流通実験 (JGN2-A17007) へ取り組みもかねて、ケーブルテレビ局同士での高速ネットワークを利用した素材流通の可能性について検証した。岩手ケーブルテレビ (盛岡) では Ruff による映像受信、ニューメディア (米沢) では DVTS による映像受信を行った。映像ソースは CAT-V (仙台) から Ruff については直接、DVTS については、東北 JGN2RC (青葉山) でストリーム分配システム (s3) を用いて、山形県庁 (試験受信用) とニューメディアへ送信した。各受信地では問題なく受信でき、また、各 CATV 局のエンジニアに実際の映像と品質、操作性などを確認してもらえる良い機会となった。素材流通の可能性についても、受信地のケーブルテレビ局からは実際の放送素材として使える可能性があるとの評価が得られた。

また、当イベントの中継においては VLAN へのノード追加や変更など、急なネットワーク変更の必要が生じたが、JGN2 センターおよび NOC の皆様には迅速にかつ柔軟にご対応頂けたので事なきを得た。改めてここに感謝申し上げる。

【東北-1 (仙台 CAT-V)】



Ruff サーバ



送信用 DVTS

【東北-6 (ニューメディア)】



DVTS による受信の様子



スクリーンショット